

# ぼごしえん ざだんかい 母語支援ボランティア座談会

喜れも押しせまった 12月23日、港北国際交流ラウンジでは教育委員会のお二人にもおいていただき母語支援ボランティアの座談会を開催しました。

母語支援ボランティアとは、日本の学校に編入してきた外国につながる子どもたちが、早く日本の学校に慣れるため、学校内で母語を使って学校生活への適応や学習をサポートするボランティアです。ここ数年の外国人の増加で母語支援ボランティアが求められています。

今回は、英語、中国語、フランス語、ロシア語のボランティアが参加しました。ふだんはそれぞれで活動しているため、ボランティア同士で話をする機会は案外少ないものです。



そこで、長く母語支援をしている先輩、これから始めようとしている方、教育委員会の方も含めてたくさんの意見交換をしたり、活動のヒントなどを共有しました。後半は2グループに分かれ、「困ったこと」と「やりがいや活動の工夫など」について思い思いに話してもらいました。

「困ったこと」については、教育委員会の方から具体的なアドバイスがあったり、ベテランボランティアからうまくいった例を共有しました。

「やりがいや活動の工夫など」では「励みになる活動」「役立っている実感がある」「自分も外国生活で助けられたので恩返しをしたい」「言葉だけではなく、それを越えたものを感じる」「見て分かるようにする」「困ったらとにかく先生に相談する」など有意義な意見が飛び交い、2時間があっという間に過ぎました。



## でんとうぶんかたいけんきょうしつ 伝統文化体験教室

日本の文化を体験してみませんか？

### かどう 華道

1月17日(金)

1pm~3pm

参加費 fee

外国人 Non-Japanese 300yen

日本人 Japanese 600yen



### しよどう 書道

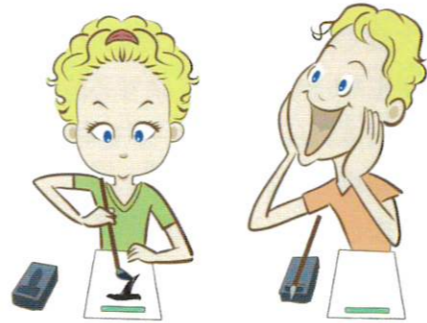
2月13日(木)

1pm~3pm

参加費 fee

外国人 Non-Japanese 100yen

日本人 Japanese 200yen



Please make a reservation at the lounge reception. Reservation can be made up one month in advance.

## 横浜市港北国際交流ラウンジ

KOHOKU INTERNATIONAL LOUNGE

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町316-1

Tel 045-430-5670 Fax 045-430-5671

E-mail kohokulounge@yokohama.nifty.jp

ホームページ https://kohokulounge.com/



Website



Facebook



Instagram

# そよ風

2025年  
1~3月号  
No.142

横浜市港北国際交流ラウンジ

KOHOKU INTERNATIONAL LOUNGE

ふるさと港北ふれあいまつり

秋のヨコアリくんまつり



ラウンジで日本語を学習しているケニア出身のアイリーンさんも飛び入り参加して、

11月30日(土)、横浜アリーナでは「ふるさと港北ふれあいまつり」が「秋のヨコアリくんまつり」と合同開催されました。アリーナいっぱい80を超えるブースが並び、多くのお客様でにぎわっていました。

今年「第9回アフリカ開発会議」(TICAD9)があり、テーマは「アフリカの潜在力及び日本とアフリカの将来の協力関係」ということで、港北国際交流ラウンジではNPO法人一期JAMさんと協力してワークショップなどを行いました。

一期JAMさんは、音楽をコミュニケーションツールとして国際交流や地域共生など人々の心をつなぐ活動をしています。その音楽が「ジャンベ」という打楽器です。西アフリカ大西洋沿岸の部族に祭事や儀式などで代々伝わるもので、約3000年の歴史があるとされています。

メインアリーナのステージで一期JAMさんのグループのジャンベの演奏が続いて、ギニアのジャンベの先生たちによる本場の演奏とパフォーマンスが行われました。ジャンベの音は魂を揺さぶるような響きです。演奏に合わせて仮面と衣装を付けた精霊が激しく踊ります。

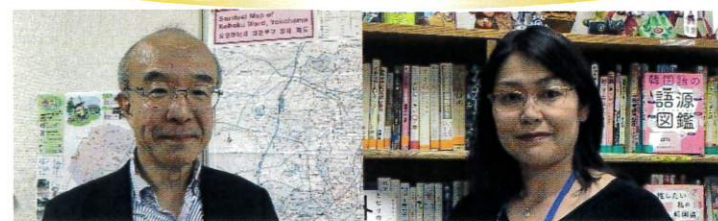


ノリノリで踊りを楽しんでいました。

2階では一期JAMさんと並んだブースでアフリカの衣装を着て記念写真を撮ったり、アフリカの布で小物を作ったりするコーナーを設けました。また、日本語学習者の南アフリカ出身のデュークさんと「英語でじゃんけん」では子どもたちも笑顔で参加していました。ワークショップは途切れることなくにぎわいを見せ盛況のうちに幕を閉じました。



## しんまどぐち 新窓口スタッフ紹介



樽田龍朗 バックオフィスの立場から国際交流促進支援頑張ります！  
大野美沙 ドイツに長く在住したことやハーフの子どもの子育てなど自身の経験を活かし、外国人の皆さんに寄り添った対応をしていけると嬉しいです。小さなことでも相談にいらしてください。

# わたしのボランティア活動 (No.26)

ニューカマー子どもの教室 武田 拓也 さん



2023年4月から、ニューカマー子どもの教室でボランティアをしています。火曜日の日本語教室で既に活動を始めていた関係でニューカマーのことを知ったことがきっかけでした。当初、小学生をみていたのですが、元々日本語や英語に関心を持っていたことから、一昨年6月頃からは中学生の英語学習を担当しています。

子どもたちの英語学習に関する背景はいろいろあります。来日前に母国で相応に英語学習をしてきた子、してこなかった子。また、日本の学校生活の中で日本の英語教育に適応している子、していない子、などで別の観点でみると、端的に英語学習に対する好き嫌いや、日本語の習熟度の問題があります。英語がそれなりに理解できても、日本語能力が伴わないと設問の主旨が正しく理解されていないこともあります。子供によって、その背景にあるものはケースバイケースなので、必然的に柔軟性を持った対応が求められると感じています。

私は現役時代、教職の経験はないのですが、上述のように、多様な子供たちがいることで色々と考えるところがあります。どんな学習の場でも、嫌いなことを何とかやらせる方法とか、好きなことはどのように伸ばしていくかなど、普遍的なテーマもあるでしょう。また個別的には、英語は大体理解できるが、文章読解に時間がかかるとか、作文は苦手など課題も多種多様です。さらに、学習と離れたところで悩みを抱えている子もいます。

当教室のボランティアの皆さんは、常々子供たちのことを考え、勉強以外にも相談に乗ったり、話を聞いたりしています。私も少しずつ生徒との距離が近づいていることが実感できるようになりました。英語嫌いな子の指導や全般的な学習方法についてなど、まだまだ課題があります。ただ、生徒から悩みを打ち明けられたり、助言を求められたりすると、多少はお役にたっているかな？と勝手ながら意気に感じます。そういう子が親や学校の先生に言えない心情を吐露していて、そのような気持ちを少しでも軽くしてあげられ

るとしたら、学習支援以外に当教室の意義が見いだせる場所ではないかと懸念します。

自分は教職のプロではないので専門性のある対応はできていませんが、ボランティアとしてのやりがいをモチベーションとして子供たちに接することができるのは、大変嬉しいことと感じています。今後も体力、知力が続くかぎり、お手伝いさせていただきたいと思っています。

## おかつつか かんこくご 推し活に使える 韓国語

12月8日(日)、1day外国語教室「推し活に使える韓国語」が開催されました。講師は窓口の韓国語スタッフの玄さんが担当しました。韓国文化の話や、韓国の俳優さんやグループの話や、推し活に使うフレーズを教わったり。また、韓国で流行ったMBTIという性格診断も教えてもらいました。講師の楽しい弾丸トークで、あっという間の90分でした。

Enhyphen、SEVENTEEN、BTS、イジョンソク、イソジン、パクミニヨン、ドボイス、Boynextdoor、SF9、Hi-Fi Un!corn推しの方など、小学生~70代まで約20名の方が参加してくれました。

今回のイベントは、半数以上の参加者が港北国際交流ラウンジに初めて来館される方でした。講師から、推し応援の韓国語を教えてもらった後は、それぞれの「推し」の発表と、覚えての推し活フレーズで自分の「推し」を応援してもらいました。最後に、講師から、このフレーズは覚えて帰ってね、ということで教えてもらったのがこちら。

아건밥행(アゴンバップン)  
“体”に気をつけて、健康で、ごはんをちゃんと食べて、幸せになろう!” 素敵なフレーズですね。

イベント終了後のアンケートでは、これからもっと韓国語を勉強してみたいという意見が目立ちました。今回のイベントが、皆さんの推し活と今後の韓国語の学習に少しでも役立てたら嬉しいです。



# がいこくごきょうしつこうし よこがお 外国語教室講師の横顔(No.18)

イタリア語入門Ⅱ講師

モンターニャ・マリア さん (イタリア)



Q. いつ日本へ来ましたか。

A. この教室で教え始めたは 2022年の 5月ですが、日本に住んでいるのは 18年になります。わたしはイタリアのナポリ出身です。

Q. 日本語が流暢ですね。どのように学びましたか？

A. 子どもの頃からアニメを通じて漢字などに触れて面白そうだと思っていました。大学では欧米以外のアジアについて知りたいたいと思い東洋学を専攻しました。欧米以外の宗教はまったくわからなかったので大学で先生に教えてもらう価値があると思い、日本の仏教と神道を中心に学びました。

もちろん大学では日本語の講義がありました。イタリアの大学は入るときは無試験で楽なのですが卒業するのは大変です。入学した時には日本語のクラスに 120人の学生がいましたが卒業する時は 10人になっていました。

Q. 日本の印象はいかがですか？

A. 初めて日本に来た時、思っていたよりきれいだなと思えました。イタリアの教会は周りにカフェがあるような活気のある街中がありますが、日本のお寺や神社は街中ではなく自然や公園のような環境で“特別な場所”という印象があります。イタリアの教会も内部は静かです。今は御朱印集めが趣味のようになっています。仲間と集まってバスで日帰りの御朱印旅をします。ラウンジ近くでは大豆戸の本葉寺



に行ってお札をもらいました。イタリアと日本は長い歴史や地震があるなど国として似たところがあります。でも、人はかなり違うところがあります。日本に来て 18年ですから日本人の考え方がたいいかわ

るようになりましたが、日本人と話しているとイエスなのかノーなのか今でもわからないことがあります。可否をはっきりさせなければならないはずの場面でも「ちょっと」と答えられて、どうしたらいいのかわからず困りました。

Q. ナポリではどんな料理を食べますか？

A. ナポリの料理といたらピザとズッキーニの花のフリット(揚げ物)です。北イタリアは寒いのでスープ類が多くバターを使いますが、南のナポリではスープはあまり作らずトマトやオリーブオイルを使った料理が多いです。名物のピザですが、ギリシャのピタを起源としてナポリで発達したものです。

Q. イタリアで観光するならどこがお勧めですか？

A. シチリア島とその隣の小さなパンテッリリア島が大好きでよく行きます。シチリア島第1の街パレルモの近くにモンレアレという町があって、そこの大聖堂

(Duomo Monreale) が素晴らしいです。世界遺産に指定されていて外側から見ると普通の教会ですが、内部が金箔のモザイクで埋め尽くされていて圧巻です。モザイクはイスラム、ピザはギリシャといったようにイタリアでも他の文化の影響を見ることができます。



パンテッリリア島のヴェネーレ湖(Lago specchio di venere、ヴィーナスの鏡の湖)の底の泥は天然の泥パックとして有名です。青のグラデーシヨンの湖と海を同時に見ることができる景色も魅力的です。

ナポリならプレジート広場が良いと思います。かつてのブルボン家の宮殿であるナポリ王宮(パラッツォ・レアーレ)、ナポリ大聖堂(サン・フランチェスコ・ディ・パオラ)、ヨーロッパ最古のオペラハウスであるサンカルロ歌劇場といった歴史的建造物を一気に回ることができます。ナポリの街からはヴェスビオス火山を見ることがもできますよ。

プレジート広場

